

# 新・文化庁との連携による文化政策の展開について

【担当省庁】 文部科学省

令和4年度の文化庁京都移転及び令和7年の大阪・関西万博をターゲットに、京都に移転する文化庁のリーダーシップのもと、京都から文化発信できるよう、以下の措置を講じていただきたい。

- 文化庁京都移転を機に、文化に関する国際会議（ユネスコ文化大臣会合等）を京都で開催するとともに、日本の多彩な文化芸術の国外発信の強化や国際文化交流の推進、文化芸術の国際的な創造拠点の形成のための国際文化交流プロジェクトを推進すること

## 京都府・京都市共同提案

- 「古典の日」法制化10周年と文化庁の京都移転を契機として、「11月1日・古典の日フォーラム」をオール京都で推進する古典の日推進委員会（京都府、京都市、宇治市及び京都商工会議所主催）と文化庁との共同主催とし、法の趣旨にそって広く国民の古典の関心と理解を深めるよう国をあげて取組を推進すること
- 博物館や資料館等、各地の文化観光拠点施設に対して、国等が保有する「当該地域にゆかりのある国宝などの文化資産」を長期貸与又は地方へ譲渡する制度を創設すること
- 文化財の保護、継承のために欠かせない、用具や原材料の将来にわたった安定供給を維持する仕組みを整備・強化すること
- 障害者による文化芸術活動推進事業において十分な予算を確保するとともに、地方障害者文化芸術活動推進基本計画を策定した自治体に対して確実に採択すること

## 【現状・課題】

### ■地域ゆかりの文化遺産を活用した展覧会支援事業

令和2年度、同事業（補助事業）を活用し、丹後郷土資料館において国宝・雪舟「天橋立図」を40年ぶりに里帰り展示したところ、開館以来初となる入館者数（44日の会期で4,150人）を記録するなど大きな反響を呼んだ。同館のリニューアルオープンを目指す令和7年度以降も展示を希望している。

京 都 府 の担当課	文化スポーツ部 文化政策室 (075-414-5166)
	文化芸術課 (075-414-4216)
	健康福祉部 障害者支援課 (075-414-4608)
	商工労働観光部 観光室 (075-414-4843)
	教育委員会 文化財保護課 (075-414-5896)

**【国の事業等】**

■地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業〔文化庁〕

令和2年度3次補正予算 2億円

■文化財を支える伝統の技伝承基盤強化プラン〔文化庁〕 6億円

用具や原材料を次世代に継承するための実態調査等

■障害者による文化芸術活動推進事業〔文化庁〕 3.76億円

令和2年度～ 地方自治体への補助制度を新設

**【京都府の取組】**

■文化首都・京都を世界に発信するための取組として、日本におけるフランス祭

「ラ・セゾン」の関連事業を京都で実施

■古典の日推進委員会に対する負担金 6,500千円

- ▶ 「古典の日」にちなみ、古典の魅力を発信し、古典に親しむ人を増やしていくための事業を実施
- ▶ 「古典の日フォーラム」、「古典の日朗読コンテスト」、「連続講座『街かど古典カフェ』」を開催。また、「古典の日」の取組を全国に広げていくため、関係団体のネットワーク化を進める。
- ▶ 古典の日フォーラム  
日時 令和3年11月1日（月）  
場所 京都劇場  
内容 古典に関する講演、演奏等

■障害者文化芸術振興事業 39,025千円

- ▶ 福祉、芸術、経済関係、行政等で「きょうと障害者文化芸術推進機構」を設立
- ▶ 常設ギャラリーを開設するなど地域において創意工夫や実情に応じた活動が既に行われている。

■障害者芸術の発信強化 5,000千円

- ▶ 障害者芸術展の開催  
文化庁主催のイベントと連携した展覧会を、京都市以外の府域でも発信